

緑内障ってどんな病気？

緑内障は40代以降によく見られる病気で、40歳以上の20人に1人は緑内障と言われています。下記の図は右眼の視野を表していますが、初期の段階では自覚症状が乏しく、自分で気づくのが難しい病気です。早期発見には眼科の診察や人間ドックなどが役立ちます。特に身内に緑内障がいらっしゃる方や、近視の方などは40歳前後での早めの検診をお勧めします。緑内障と診断されても、早い段階から治療をすれば、点眼薬などの保存的治療で十分に効果を得られることが多いです。今は平均寿命が80歳を超える超高齢化社会ですから、緑内障を早期に発見して、生涯、生活に困ることがないように、上手に付き合っていくことが大切です。

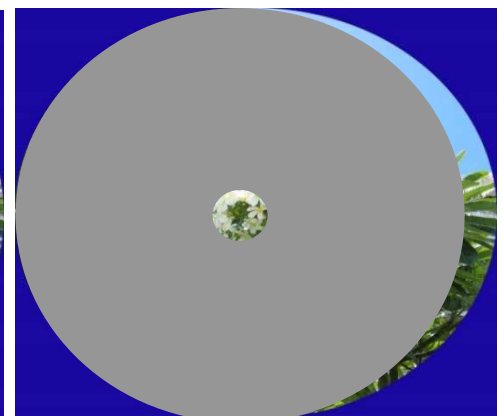
※グレー部分は見えない箇所



初期



中期



末期

医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院 眼科医長 下村 智恵美

		月	火	水	木	金	土
眼科	午前	下村	下村	下村	下村	山田	
			松岡	上野			

*赤字は女性医師

病院理念：優しさと思いやりの心をもって、質の高い安心で安全な医療を提供します

医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院